

英国科学誌「ネイチャー・ケミストリー」誌掲載

バイオマーカーを見分けて溶けるゲル状物質を開発

－ 診断材料や薬物放出材料として期待 －

京都大学大学院工学研究科の 浜地 格 教授と岐阜大学工学部の 池田 将 准教授（前京都大学大学院工学研究科助教）らの研究グループは、バイオマーカー（疾病の指標）となる複雑な生体分子の存在量を識別して、それに選択的に応答して溶けるヒドロゲル（水を寒天のように固める物質）の開発に成功しました。

この成果が、英国科学誌「ネイチャー・ケミストリー（Nature Chemistry）」誌のオンライン速報版に掲載されることになりました。

研究成果の概要については、別紙のとおりです。

つきましては、この研究成果について、下記のとおり京都大学にて、記者説明を行いますので、お知らせします。

なお、この発表についての報道解禁は、新聞は5月5日（月）付朝刊、新聞のWeb 及び放送は5月5日（月）午前2時以降です。報道解禁までは、各社協力願います。

記

日 時 平成26年5月1日（木） 午後2時～
場 所 京都大学記者室（京都大学百周年時計台記念館1階）
説明者 浜地 格（京都大学大学院工学研究科・教授）
池田 将（岐阜大学工学部・准教授）

問い合わせ先

岐阜大学工学部 化学・生命工学科

准教授 池田 将

Tel : 058-293-2639 Fax : 058-293-2794

E-mail : m_ikeda@gifu-u.ac.jp